



2015年8月24日発行



今回の紙面から（ページと内容）

1. 会長挨拶
2. 第33回大会のお知らせ
4. 第9回国際春季フォーラムのご案内
English Linguistics 刊行スケジュールの変更について
理事会より
5. 編集委員会より
6. 大会運営委員会より
広報委員会より
7. 学会賞委員会より
2014年度会計報告
8. 2015年度予算計画
9. 言語系学会連合について
事務局より

会長挨拶

会長 大庭 幸男

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より学会の諸活動にご協力・ご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、皆様もご存知のように、6月8日に文部科学大臣より各国立大学法人に対して教員養成・人文社会科学学部・大学院の廃止・転換を求める通知がありました。日本英語学会は、今後の動向を注視しつつ、言語系学会連合と連携して対応していきたいと思っています。

ここで、日本英語学会のホームページについてお知らせいたします。周知のように、本ホームページを全面的にリニューアルし、日本語版を3月31日に、英語版を5月11日に公開いたしました。本学会のホームページは16年前に作成され、その後幾度も改訂されてきましたが、今回は表紙のデザインを刷新するとともに、従来の日本語版に加えて、英語版も作成しました。日本語版では、学会誌*English Linguistics*、*JELS*の投稿規定、

研究発表やワークショップ等の応募規定、顕彰制度等に関する規定の見直しを行い、表現上の統一を図りました。また、英語版では、日本語版の会則・会員規定をはじめとして、各種規定や関連する応募要項・応募用紙等を英語に翻訳しています。特に、英語版の作成にあたりましては、広報委員の皆様、編集委員会や大会運営委員会の正・副委員長の皆様にたいへんお世話になりました。また、英文校閲につきましては、今西理事と早稲田大学のデ・シェン教授にご尽力いただきました。加えて、新ホームページのアップロード作業につきましては、前広報委員長の天沼実先生がご担当くださいました。このように、さまざまな人たちのご協力とご尽力のお陰で、新ホームページを作成することができました。改めまして、皆様に感謝申し上げます。

次に、今年度の本学会の大会開催につきましてご報告申し上げます。まず、第8回国際春季フォーラムが4月18日～19日に成蹊大学において開催され、盛会裡に終わりました。しかし、残念なことに、今年度の交流プログラムはキャンセルとなり、韓国英語学会（ELSOK）からの講師派遣はありませんでした。今後は、毎年行っている講師派遣を隔年ごとに行うという方向でELSOKと折衝しています。この国際春季フォーラムの開催にあたり、成蹊大学の米山三明先生をはじめとして、同大学の関係者の皆様、そして大会運営委員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

また、本年11月21日～22日には、関西外国語大学（〒573-1001 枚方市中宮東之町16-1）で第33回大会が開催されます。（スチューデント）ワークショップ5件、招聘・懇話を含む研究発表36件、（公開特別）シンポジウム7件が予定されており、たいへん充実した内容になっています。会員の皆様には、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

これに関連して、大会（SF）優秀発表賞についてお知らせいたします。予てから会員の皆様にお知らせしていますように、本学会の活性化、若手研究者の育成、そして会員数の増加を図るために2014年度から大会（SF）優秀発表賞の設置を検討してきましたが、これに係る規定、応募要項・形式等が昨年度末までに整備され、今年11月に開催される大会から実施されることになりました。これを契機に若手研究者の研究意欲が高まることを期待しています。

最後になりましたが、日本学術振興会の科研費についてお知らせいたします。今年度も昨年度に続いて科研費が採択されました。言語系学会で科研費が採択されたのは2件にすぎず、本学会はその中に入っています。科研費の採択には、国際化、とりわけ、学会誌の海外への発信、海外学会との提携や交流等が求められています。そこで、現在、海外の学会との交流を模索するための施策を理事会で考えているところです。

会長の任期が2期目となり、それに伴い事務局長ならびに各種委員会担当書記が一部交代となりました。学会運営に微力ながらも尽力いたす所存ですので、会員の皆様には今後とも日本英語学会の発展のためにご理解とご支援を賜りますように、お願いいたします。

第33回大会のお知らせ

日時：2015年11月21日（土）～22日（日）

場所：関西外国語大学中宮キャンパス

（〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1）

日本英語学会第33回大会は、大会運営委員会と開催校のご協力とご尽力により、着々と準備が進められています。今大会のスケジュールは以下の通りです。シンポジウムは第1日の午後と第2日の午後に予定しております。

11月21日（土）

9:30～11:45：ワークショップ

12:00～12:50：総会

13:00～14:55：研究発表

15:15～18:00：公開特別シンポジウム

／シンポジウム

18:20～19:50：懇親会

11月22日（日）

9:30～12:45：研究発表

13:45～16:30：シンポジウム

今年度は、5つのワークショップ（うち2つはスチューデント・ワークショップ）、36の研究発表と7つのシンポジウムが予定されています。シンポジウムの内容は以下の通りです。（〔 〕内は司会者、（ ）内は講師と題目を示します。）

A. 「日本の英語学研究者と語彙意味論研究」（公開特別）〔岩田彩志〕（藤川勝也：「描写句の機能と動詞句との時間関係について」、鈴木亨：「創造的逸脱表現における動詞補部の解釈－Think differentの構文分析から－」、岩田彩志：「形容詞結果句と前置詞結果句」、大室剛志：「構文の成立過程とその後の展開－半動名詞構文を中心に－」）

B. “Unconstrained Merge: Its Consequences and Challenges” [Miki Obata] (Miki Obata: “Introduction: On Merge and its Related Issues”, Hiroki Narita: “Conditions on Symmetry-Breaking in Syntax”, Nobu Goto: “On Labeling: In Search of Unconstrained Merge”, Marc Richards: “Escape to Freedom: Interpreting ‘Free Merge’ across Phase Boundaries”)

C. 「共時的・通時的に探る英語の属格」〔宮前和代〕（小池剛史：「後期古英語から初期中英語の説教集に見られる属格用法の変化」、新川清治：「初期中英語韻文詩ラヤモンの『ブルート』オト写本における属格」、宮前和代：「属格の史の変遷から見えてくる言語変化」）

D. 「相互行為にみられる調和」〔村田和代〕（花崎美紀：「『不調和』を解消する相互行為の一方策としての否定疑問文」、吉田悦子：「問題解決と課題達成に必要な調和へのプロセス」、武黒

麻紀子：「『不調和』の多層的展開」、村田和代：「対人関係上の力の不均衡の調和：ユーモアの表出から考える」]

E. 「言語獲得研究から見た普遍文法」[村杉恵子] (村杉恵子：「文構造の獲得」、杉崎鉦司：「スルーシングおよびその制約の獲得と普遍文法」、郷路拓也：「比較構文における数量詞解釈：言語の多様性と言語獲得の普遍性に関して」。コメンテーターとして高橋大厚)

F. 「修飾の統語と意味：特殊からの視点」[菊地朗] (岸浩介：「名詞表現内部での叙述関係について」、北田伸一：「併合と括弧標示の逆説」、島越郎：「比較標識と比較節の選択関係」、菊地朗：「比較概念と分離AP構文」)

G. 「構文変化と談話・情報構造－データと理論の融合を目指して－」[柴崎礼士郎] (大沢ふよう：「構文変化と意味情報」、早瀬尚子：「懸垂分詞の構文化」、柴崎礼士郎：「発話周辺と共有構文の創発」。ディスカッサントとして高橋英光)

公開特別シンポジウム「日本の英語学研究者と語彙意味論研究」については、非会員でも無料で参加できます。

本大会の詳しい内容につきましては、同封の「大会資料・プログラム」および9月以降日本英語学会ホームページに掲載されます大会における発表要旨とワークショッププログラム（ともにダウンロード可能）をご覧ください。

◇ 大会当日の受付について

大会当日は受付にて大会参加費（2,000円）をいただき *Conference Handbook* と名札をお渡しします。名札をつけていない方は入室できませんのでご注意ください（公開シンポジウムのみ参加費と名札なしで入室できます）。また、11月21日（土）の受付は11時30分より始めますのでお早めにお出かけください。

◇ 総会について

21日（土）の12:00より12:50まで総会を開催します。総会では、会長の挨拶、開催校代表のご挨拶、大会運営委員会、編集委員会、広報委員会、学会賞委員会、事務局からの報告などがあります。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

◇ 懇親会について

21日（土）18:20より19:50まで、学内の厚生北館第1食堂において懇親会（会費4,000円（学生3,000円））を催します。是非ご参加ください。

◇ 大会（SF）優秀発表賞について

今年度11月開催の大会より、大会（SF）優秀発表賞の審査が行われます。これは事前に審査希望を申請した修士課程修了後10年以内の研究者による発表を審査し、表彰するものです。大会終了後に審査結果をまとめ、ホームページおよびニューズレターで受賞者を発表します。

大会（SF）優秀発表賞の審査は、来年度以降の国際春季フォーラムにおいても行われます。

◇ 証明書等の発行について

全国大会出席のため、所属機関に提出する証明書等が必要な方は、返信用封筒を同封の上、下記までご請求ください。書式が定まっている場合には証明印以外の部分を記入したものをお送りいただければ幸いです。

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 開拓社内
日本英語学会事務局

◇ 学内食堂の利用時間

21日（土）は学内の食堂、カフェ、コンビニエンスストアをご利用いただけます。営業時間は施設により9時～18時です。詳しくは大会プログラムをご参照ください。22日（日）は食堂の営業はなく、また大学周辺にも食堂が殆どありませんので、ぜひ昼食をご持参ください。

第9回国際春季フォーラムのご案内

第9回国際春季フォーラムは次の通り開催される予定です。

日時：2016年4月23日(土)・24日(日)

場所：神戸市外国語大学

(〒651-2187 神戸市西区学園東町9-1)

研究発表とワークショップの募集につきましては、同封の案内をご覧ください。

English Linguistics 刊行スケジュールの変更について

English Linguisticsは34巻(2017年度発行予定)から刊行日程が変更されます。現在、1号が6月に、2号が12月に刊行されていますが、34巻以降は、1号が9月、2号が3月の刊行となります。

このように刊行を3か月遅らせるのは、特集テーマによる一括投稿論文の審査やEL論文賞の選考など編集委員会の業務が増えている中、良質な査読を行い、また国際化に向けて海外査読者を積極的に登用していくために、編集日程に余裕をもたせることが必要であると判断したためです。ご理解をお願いします。

なお、一般論文の投稿締め切りは4月1日と9月20日で変更ありません。

理事会より

◇ 会計

2014年度収支決算書および2015年度予算計画書が、6月28日開催の第70回理事会にて審議の結果、承認されました。

収支決算および予算計画の内容については、このニューズレターの7ページから9ページをご覧ください。

◇ 役員の異動

顧問就任(平成27年4月1日付)

稲田俊明氏(長崎大学)、大津由紀雄氏(明海大学)

評議員就任(平成27年4月1日付)

秋山正宏氏(愛媛大学)、井川壽子氏(津田塾大

学)、梅原大輔氏(甲南女子大学)、小野尚之氏(東北大学)、佐々木一隆氏(宇都宮大学)、佐野哲也氏(明治学院大学)、杉岡洋子氏(慶應義塾大学)、松元浩一氏(長崎大学)、由本陽子氏(大阪大学)
[任期2年(再任可)]

評議員退任(平成27年3月31日付)

浅野一郎氏(宇都宮大学)、生田少子氏(明治学院大学)、池内正幸氏(津田塾大学)、稲田俊明氏(長崎大学)、大津由紀雄氏(明海大学)、杉本孝司氏(大阪観光大学)、田中七郎氏(松山大学)、福地肇氏(東北大学)、山梨正明氏(関西外国語大学)

広報委員長就任(平成27年4月1日付)

五十嵐義行氏(東京国際大学)[任期2年]

広報委員長退任(平成27年3月31日付)

天沼実氏(宇都宮大学)

大会運営委員長就任(平成26年12月15日付)

高橋英光氏(北海道大学)[任期1年]

大会運営委員長退任(平成26年12月14日付)

丸田忠雄氏(東京理科大学)

学会賞委員長就任(平成27年4月1日付)

伊藤たかね氏(東京大学)[任期1年]

学会賞委員長退任(平成27年3月31日付)

池内正幸氏(津田塾大学)

ご退任のみなさま方、これまで日本英語学会の運営にご尽力いただきましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

◇ 第34回大会(2016年度)の開催校

来年度の大会は、2016年11月12日(土)、13日(日)に金沢大学にて開催される予定です。詳細については、2016年2月末に発行予定の『え〜ごかく』64号にてお知らせいたします。

◇ 科学研究費の交付について

2015年度の科学研究費として申請した「電子化と国際連携による英語学研究の国際情報発信強化の取組」(国際情報発信強化(B))に対し、単年度で320万円の交付が決定されました。

◇ *English Linguistics*最新号のアーカイブ化とCD-ROMの廃止について

現在、*English Linguistics*は刊行後2年を経過したものについてJ-STAGE(科学技術情報発信流通総合システム)での公開を行っています。これに加え、*English Linguistics* 第32巻2号より、刊行と同時に学会ホームページ上で電子媒体として公開することが理事会で承認されました。このアーカイブはIDとパスワードにより会員のみがアクセスできるようにするもので、刊行後2年を経過すれば、従来どおりJ-STAGEでのオープンアクセスとなります。

またこの電子化に伴い、現在*EL*に添付されているCD-ROMは次号より廃止されます。

編集委員会より

◇ 第17期編集委員会 (*English Linguistics* 第33~34巻編集担当) 新任編集委員について

編集委員会規定(2009年4月1日施行)に従い、第17期編集委員会の新任委員が以下のように選出されました。新任委員の1期目の任期は2015年7月1日から2017年9月30日までです。第16期編集委員会から引き継ぐ2期目の委員の任期は2015年10月1日から2017年9月30日までです。2015年7月から9月までの期間は、第16期編集委員会と第17期編集委員会の引き継ぎ移行期となり、分担協力して*EL*の編集業務が行われます。

〈新任委員12名〉 西岡宣明氏(九州大学)、葛西宏信氏(北九州市立大学)、吉田智行氏(国際基督教大学)、上田由紀子氏(秋田大学)、井上逸兵氏(慶應義塾大学)、岩本遠億氏(神田外語大学)、Wayne Lawrence氏(オークランド大学)、田端敏幸氏(千葉大学)、塩原佳世乃氏(東京女子大学)、大沢ふよう氏(法政大学)、村杉恵子氏(南山大学)、上田雅信氏(北海道大学)

〈2期目の委員11名〉 菊地朗氏(東北大学)、内堀朝子氏(日本大学)、石井透氏(明治大学)、吉村紀子氏(静岡県立大学)、堀江薫氏(名古屋大学)、川崎典子氏(東京女子大学)、福島一彦氏(関西外国語大学)、三間英樹氏(神戸市外国語大学)、小倉美知子氏(東京女子大学)、杉崎鉦司氏(三重大学)、藤田耕司氏(京都大学)

なお、編集委員の会員資格を明確にするため、編集委員会内規第1項に「編集委員は原則として本学会の会員でなければならない。ただし、外国人が委員になる場合はその限りではない。」という文言を追加する変更が行われました。新編集委員のWayne Lawrence氏は、この内規の変更を受けて選出された非会員の編集委員です。

◇ 2014年度*EL*論文賞の決定について

English Linguistics 第31巻に掲載され、1次審査通過論文として選定されたArticle 4編(Syntax 3, Historical Linguistics 1)、Brief Article 1編(Syntax 1)について、編集委員長、副委員長を含めた6名の最終選考委員により最終審査が行われ、以下の2編が受賞論文として決定しました。

荒野 章彦: "Two Types of Main Verb Inversion"
(分野: Syntax)

柴崎 礼士郎: "On the Development of *The Point Is* and Related Issues in the History of American English"
(分野: Historical Linguistics)

◇ *English Linguistics* 第32巻1号(2015年春号)の刊行について

EL 32巻1号(春号)が刊行されました。Invited Article 1編、Article 1編、Brief Article 2編、Notes and Discussion 1編、Articles on a Specified Topic 4編、Review 6編が掲載されています。

◇ *English Linguistics* 第32巻2号(2015年秋号)の応募論文について

2015年4月1日締め切りで投稿された一般論文の総数は18編で、投稿部門と投稿分野の

内 訳 は、Article 11編 (Phonology/Historical Linguistics 1, Syntax 5, Syntax/Semantics 1, Pragmatics/Cognitive Linguistics 1, Cognitive Linguistics 2, Typology 1)、Brief Article 4編 (Syntax 2, Semantics 1, Cognitive Linguistics/Historical Linguistics 1)、Notes and Discussion 3編 (Syntax 1, Semantics 1, Cognitive Linguistics/Historical Linguistics 1) でした。また、「4ヶ月書き直し」として再投稿された論文は、Article 1編 (Phonology 1) でした。

以下の表は、懇話によるReview 9編と32巻1号に応募されて「4ヶ月書き直し」と判定され、32巻2号に再投稿された論文1編も含めた、32巻2号の審査状況です (2015年7月31日現在)。

	応募数	採用	不採用	取り下げ	審査中
AR	11	1	7	0	3
BA	4	1	2	0	1
N&D	3	1	2	0	0
Review	9	9	0	0	0
4ヶ月書き直し					
AR	1	1	0	0	0
合計	28	13	11	0	4

◇ *English Linguistics* 第33巻1号 (2016年春号) への投稿について

2016年6月発行予定の*English Linguistics*第33巻1号の応募締め切りは、2015年9月20日(日) 24時(必着)です。応募される方は、学会ホームページに記載されている投稿規定および書式に関する注意事項を通読され、最新版の規定に則って作成し、ネイティブ・チェックを受けた原稿をご投稿くださいますよう、お願い申し上げます。

◇ 「特別企画2015：特集テーマによる一括投稿論文」の公募について

編集委員会は、*English Linguistics* 33巻の編集に向けて、本年度も「特別企画2015：特集テーマによる一括投稿論文」の公募を行うことを決定しました。事前申し込みの締め切りは、2015年12月15日です。公募案内が学会HPに掲載されていますので、ご覧の上、ご応募ください。

大会運営委員会より

◇ 第33回大会個人研究発表への応募の審査結果

個人研究発表には49篇の応募があり、審査の結果、36篇の研究発表が行われることになりました。

◇ 第8回国際春季フォーラム報告

第8回国際春季フォーラムは、2015年4月18日(土)・19日(日)の両日、成蹊大学において開催されました。今回のフォーラムでは、3つの招待講演、14の口頭発表、5つのポスター発表が行われました。101名(会員95名、非会員6名)の参加者があり、活発な議論が展開されました。フォーラムの運営を支えてくださった開催校の米山三明先生をはじめとする開催校委員の先生方と学生の皆さん、金澤俊吾実行委員長をはじめ大会運営委員の先生方、そして参加された会員の皆様のご協力に対して、心よりお礼申し上げます。

広報委員会より

◇ *English Linguistics*アーカイブ化と公開に向けた作業について

広報委員会では、J-STAGEでの*EL*アーカイブ化と公開作業に取り組んでいます。アップロードに伴う校正については、開拓社編集部と広報委員会との間で結ばれた申し合わせ手順に従って、執筆者の責任で校正作業が進められ、執筆者からの校正報告に基づきデータ修正をした後、委員会の確認を経て公開しています。現在、*English Linguistics*第29巻1号まで公開されています。

◇ 日本英語学会新ホームページ公開について

会長挨拶にもありますように、学会のホームページを改訂し、日本語版を3月31日に、英語版を5月11日に公開しました。理事会の決定を受け、今後、*EL*最新刊のPDF版公開に向けての作業を進めていきます。

◇ ホームページ「新着情報」での出版情報紹介について

会員の方からホームページ「新着情報」において新刊出版物等について出版情報の紹介が出来ないかというお問い合わせがあり、検討しましたが、学会ホームページとして紹介の是非を公平に判定することが難しいことなどから、広報委員会として現状では見合わせる事となりました。

学会賞委員会より

◇ 新人賞と学会賞（論文）の応募状況

2015年度新人賞と学会賞（論文）の応募は5月31日に締め切られました。有資格者である2014年度EL論文賞受賞者から、学会賞（論文）2件の応募がありました。新人賞への応募はありませんでした。学会賞（論文）応募論文の分野は極小主義に関わる論考が1件、文法化に関わる論考が1件です。現在、選考委員会において厳正な審査が行われており、最終選考結果は本年11月に開催される日本英語学会総会で報告されます。

◇ 学会賞（著書）の応募状況

5月31日に締め切られた2015年度学会賞（著書）には5件の応募がありました。会員としての会費納入条件を満たしており、また応募著書は2年以内に刊行されていることが事務局により確認されましたので、応募申請は5件とも受理されました。審査領域は、統語論2件、談話研究1件、文字論・音声学1件、認知言語学1件です。学会賞（著書）に関しては、1次審査と最終選考の2段階選考で、現在、厳正に審査が行われており、最終選考結果は本年11月に開催される日本英語学会総会で報告されます。

言語系学会連合について

全国語学教育学会

今年度は、全国英語教育学会が本連合の運営を担当することになりました。運営委員、監査委員、事務局は以下の通りです。

【運営委員】（任期は2015年4月より1年間）

Stephen Brown（委員長、全国語学教育学会）、小林正人（副委員長、日本言語学会）、金水敏（日本語学会）、野田尚史（日本語教育学会）、米山三明（日本英語学会）

【監査委員】

前田直子（日本語学会）（学会として2014年4月より2年間担当）、三宅和子（日本語教育学会）（学会として2015年4月より2年間担当）

【事務局】（任期は2015年4月より1年間）

カイト由利子（事務局長、全国語学教育学会）、白川順子（会計担当、全国語学教育学会）

5月11日に運営委員会が甲南女子大学で開催され、昨年度の活動と決算案、今年度の活動計画案と予算案等について審議が行われ、すべて承認されました。また、6月20日に意見交換会が同大学で開催されました。ここで「研究倫理に関するガイドライン」が承認され、UALSのホームページで公開されています。

また、今年度は、全国語学教育学会の企画として、公開特別シンポジウムを11月22日（日）の同学会の年次国際大会時に開催することになりました。題目、司会・パネリスト、日時と開催場所は以下の通りです。

題目：「言語教育・研究の目指す方向性を巡って 言語系学会連合はどこを目指すべきか？」

司会：カイト由利子（関西大学名誉教授、全国語学教育学会）、スティーブン・ブラウン（甲南女子大学教授、全国語学教育学会） パネリスト：西原鈴子（国際交流基金・日本語国際センター所長）、Alice Chik（Macquarie University, School of Education）、山本敏幸（関西大学教授）

日時：11月22日（日）15:50～18:00

開催場所：静岡県コンベンションツアーセンター
「グランシップ」

詳細は、言語系学会連合ホームページ

<http://www.nacos.com/gengoren/index.html>
をご覧ください。

事務局より

◇ 会員数について

2015年6月1日現在の会員総数は、1,391名です。

◇ 会費納入のお願い

会費未納の方は、学会支援機構から送られました振込用紙で納入してくださいませようお願いいたします。2年間滞納されますと、会則第8条第4項により、自動的に退会扱いになりますので、ご注意ください。

◇ 学生会員登録について

学生会員登録には毎年継続手続きが必要です。指定された期日までに継続手続きをしない場合には、通常会員として会費請求がなされますので、ご注意ください。

今年度の学生（継続）会員手続きは、2015年4月25日（土）に締め切りました。学生会員として新規入会される方につきましては、年度内のいつご入会戴いても学生会員として登録させて戴きます。

手続きの方法については、日本英語学会ホームページをご覧ください。

◇ 日本英語学会からの各種お知らせについて

ホームページにあります研究発表応募規定、*English Linguistics*投稿規定、学会賞・新人賞の応募規程等は最新の情報が掲載されています。発

表応募、投稿等にあたっては、最新の規定をご確認いただくようお願いいたします。

◇ *EL*, *JELS*への論文投稿に関するお願い

EL, *JELS*に論文を投稿される際には、日本英語学会ホームページに掲載されております「*English Linguistics* 投稿規定」「*JELS*投稿規定」をよくお読みいただき、規定を遵守したうえで投稿されるようお願いいたします。

*EL*に関して、編集委員会あるいは開拓社宛に投稿・通知する場合には、メールの件名およびメール本文には「*English Linguistics* 投稿規定」ページ末尾の「投稿論文の*EL*掲載までの手順案内」の表で指定されている情報を必ず明記してください。開拓社から送られる自動応答の着信確認用の受領メールに返信する形で、連絡メールを送信しないでください。編集委員会あるいは開拓社宛に投稿・通知する場合には必ず指定されている宛先のアドレスに送信してください。

*JELS*や所属機関のworking papers等に掲載された研究（の一部）を発展させて*EL*に投稿する場合には、論文審査が公平で厳正に行えるよう、関連する投稿者自身のこれまでの研究論文の情報は必ず記載してください。なお、相互に匿名による審査体制であることに留意し、本文等でそれらに言及するときには、3人称表現をご使用ください。

◇ *EL*掲載論文の再録やレポジトリへの登録に関するお願い

*EL*に掲載された論文の著作権は日本英語学会にあります。そのため、*EL*に掲載された論文を他のジャーナルや著書に再録する場合には、本学会の許可が必要です。再録をご希望の場合には、日本英語学会事務局宛てにお知らせください。

また、最近、各大学で「学術情報レポジトリ」や「電子アーカイブ」の整備が急速になされつつあり、*EL*に掲載された論文をそれに登録したいとのご希望が寄せられています。日本英語学会では、発行後2年以上経過した論文の登録をお認めしています。この場合も日本英語学会事務局宛てにお知らせください。

*EL*論文の再録やレポジトリ、アーカイブへ

の登録をご希望の場合の連絡先のメールアドレスは、以下のものです。

メールアドレス：elsj-info@kaitakusha.co.jp

◇ *JELS*掲載論文の再録・登録に関するお願い

*JELS*掲載論文についても、再録、および学術レポジトリや電子アーカイブへの登録や個人のウェブサイトへ掲載の場合には、*EL*掲載の論文と同様に、事前に事務局までEメールでお申し出ください。

*JELS*掲載論文については、発行後1年を経過したものについては、申し出があれば再録や学術レポジトリなどへの掲載をお認めしています。

連絡先のメールアドレスは以下のものです。

メールアドレス：elsj-info@kaitakusha.co.jp

◇ *EL*公費購入のお願い

ご所属の大学図書館や研究室で *EL* を購入されていない場合には、ぜひ購入の手続きをしていただきたく存じます。*EL* がより多くの研究者に知られるだけでなく、本会の運営にも益するところがありますので、よろしくお願いいたします。

◇ 電子版投稿・審査体制に関連するお願い

研究発表応募、*EL*への投稿、および学会賞・新人賞への応募の電子化に伴い、学会から会員の方々に電子メールで連絡することが通常の状態になっています。つきましては、メールアドレスや住所等の連絡先、及び所属に変更が生じた場合には、速やかに学会支援機構・日本英語学会会員管理担当 (elsjkaiin@asas.or.jp) にご連絡いただき、電子版投稿・審査体制の下での学会運営にご協力いただきますようお願いいたします。

連絡方法については、学会ホームページをご覧ください。

なお、事務局あるいは各委員会からメールで連絡を差し上げた際の返信につきましては、通常1週間の余裕をみてお願いしておりますので、その期間内にご返信をいただけますようお願いいたします。万一、返信の未着あるいは遅着にて、行き違いが生じた場合には、ご容赦お願い申し上げます。

◇ 外部査読者登録（更新）のお願い

「English Linguistics外部査読者登録のお願い(2015-2016)」を事務局から送信いたします。今年の8月下旬から9月上旬にかけても、登録のお願いを送信する予定でおります。外部査読者登録制度への会員の皆様のさらなるご支援をお願いいたします。

◇ 親と子の部屋について

今年も大会会場に「親と子の部屋」という保育室を設けます。専門の保育士が待機しておりますので、安心してご利用いただけます。利用ご希望の方は、同封の「親と子の部屋利用案内」をご覧ください。うえ、事務局までご連絡ください。

◇ 新年度事務局の体制

大庭会長第2期の開始にあたり、事務局も次のような異動がありました。今後ともよろしく願います。

退任

事務局長 岡田禎之（大阪大学）

（平成27年4月30日付）

編集委員会・理事会書記

田中裕幸（関西学院大学）

大会運営委員会・評議員会書記

南佑亮（神戸女子大学）

学会賞委員会・広報委員会書記

森英樹（福井県立大学）

（以上 平成27年3月31日付）

就任

事務局長 梅原大輔（甲南女子大学）

（平成27年5月1日付）

編集委員会・理事会書記

黒川尚彦（大阪工業大学）

大会運営委員会・評議員会書記

本田隆裕（神戸女子大学）

学会賞委員会・広報委員会書記

藤井友比呂（横浜国立大学）

（以上 平成27年4月1日付）

留任

編集委員会・理事会書記

岩崎真哉（大阪国際大学）

財務・国際春季フォーラム書記

吉本真由美（実践女子大学）

編集後記

岡田前事務局長から5月1日付けで事務局を引き継ぎ、早3ヶ月が過ぎました。理事、評議員、そして各種委員会の委員、そして会員の皆様方に助けていただいて、なんとか乗り切ってきた気持ちです。代々受け渡されてきた段ボールの山の居場所を作るために、この夏は研究室の片付けに追われそうです。

これから秋の大会に向けて慌ただしい時期を迎えますが、大会を成功裡に終えるために尽力したいと思います。今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

(D.U)

2015年8月24日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 大庭 幸男

発行所 日本英語学会

<http://elsj.jp>

〒113-0023

東京都文京区向丘1-5-2

開拓社内

電話 (03) 5842-8900
